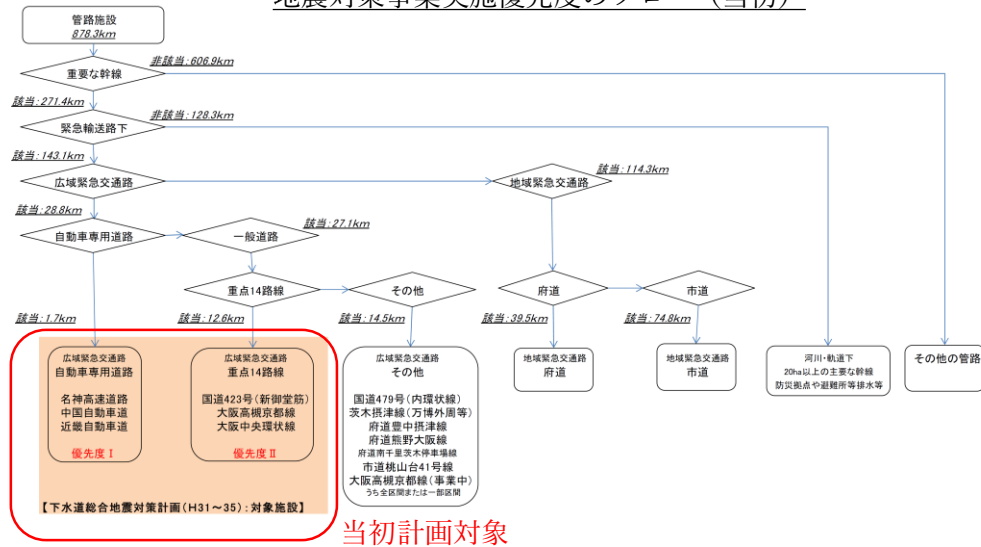


令和元年度～令和5年度で実施している吹田市下水道総合地震対策計画を変更。

○管路施設について

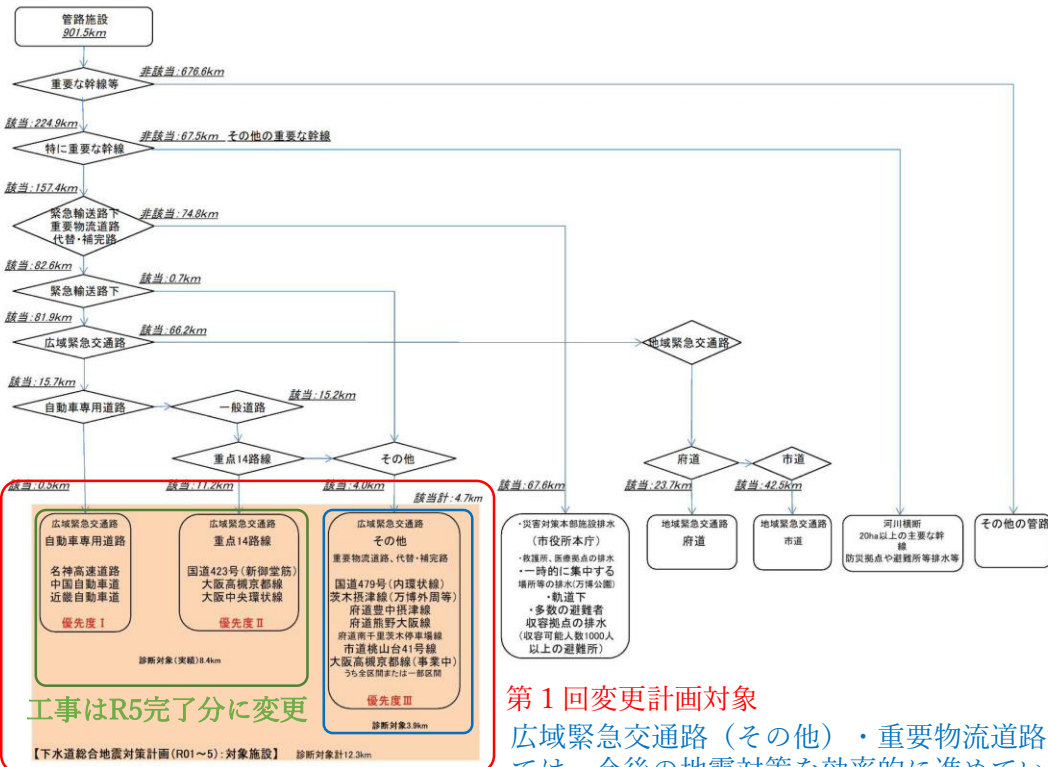
当初計画においては、広域緊急交通路のうち自動車専用道路及び重点14路線の耐震化を予定していたが、期間内での工事が完了しないため、今後の予定を見直し、対象区域を令和5年度末に工事完了予定の路線に変更する。あわせて、今後の事業必要箇所の把握を行う必要があることから、広域緊急交通路（その他）の路線について、令和5年度に耐震診断を実施することとした。

地震対策事業実施優先度のフロー（当初）



当初計画対象

地震対策事業実施優先度のフロー（今回変更）



工事はR5完了分に変更

第1回変更計画対象

広域緊急交通路（その他）・重要物流道路等については、今後の地震対策を効率的に進めていくため、耐震診断を今回計画に位置付ける。

○処理場・ポンプ場施設について

○主な変更点

(1) 事業の実施優先度の変更

当初計画：機能別優先度×耐震化状況で事業実施優先度を決定

変更計画：耐震診断と設計・工事の考え方分けた

耐震診断：今後の処理場のあり方等を含めた検討を行うため、耐震性能の状況を把握しておく必要があるため、耐震診断を優先的に実施。

設計・工事：当初計画の考え方で整理（機能別優先度×耐震化状況）

(2) 対象施設の整理

南吹田下水処理場の対象施設を整理した。

当初計画：22施設

変更計画：24施設（オイルタンク、管廊、流入渠等を追加、沈砂池・水処理管理棟を1施設に集約した）

(3) 耐震化状況の基準の見直し

当初計画：建築物については、新耐震基準に適合していれば耐震化済とする。

変更計画：建築物については、下水道指針の基準に適合していれば耐震化済とする。（新耐震基準では耐震化が完了したとは取り扱わない）

○計画スケジュール

○令和元年度～令和5年度について、下記スケジュールに計画変更。

年次計画及び年割額							(百万円)	
対象施設	事業内容	2019年度 (令和1年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	計	事業量
管路施設	耐震診断	25.5	-	-	22.2	34.2	81.9	12.3km
	耐震化詳細設計	-	29.0	12.2	-	24.4	65.6	1.7km
	耐震化工事	-	-	104.7	308.8	478.7	892.2	1.3km
処理場施設	耐震診断	20.7	-	-	51.1	121.9	193.7	2処理場
	耐震化詳細設計	-	-	-	58.8	-	58.8	2処理場
	耐震化工事	-	-	-	-	-	-	2処理場
合計		46.2	29.0	116.9	440.9	659.2	1,292.2	